

4名の大花見会

日時・場所：2023年4月1日（土）14：00～16：00

大横川散策 その後門仲「はなぶさ」で宴

出席者：守永・金川・村川・増田・・・4名

（順不同敬称略 以降文中敬称略）

本部下関の日和山花見会開催に刺激され、東京支部でも急遽「大花見会」を企画し周知したが、何しろ急な案内と年度初日だった事もあり、先約ありの返信が多く（例によってまったく返信無しも多い）、それに輪をかけ当日ドタキャンが2名、従って上記4名の大花見会となった。しかも守永は15：30からの参加、さすがに守永からは（差し入れもいただいております）会費は免除とする。

差し入れと言えは近藤から下関産の蒲鉾・竹輪が届いており、そこでつまみにしないで、分けて各員が持ち帰ることとする、有難う（ドタキャンの詫びでチャラだな）

人数は少なかったが中身はその分濃いいよ、金川が4/4に免許証切り替えて認知テストを受けるらしいが、その話で盛り上がる。

下関の岡林・肥塚は満点だったが本を買ってぶち勉強した、村川も満点だったがやはり本を買って1か月練習した、守永もチョット目を通したが満点だった、増田は問題は聴いたがほぼぶっつけ本番で95点だった、チー坊はぶっつけ本番でギリギリ合格、とか言う金川のビビることビビること、言う事と態度はあんなに大きいのに「蚤の心臓」か。

こんな質問・問題が出る、参考書にかいてあるのと同じ物が出る、余程のバカじゃなきゃ合格するとか言っても、ビビりまくり、「そんな話初めて聞いた」「誕生日まで間があるから試験日を延期しようか」「帰りに参考書買う」「どの本買えばいいか本屋まで付き合え」とか。

今までの態度の大きい純平ちゃんからは想像できない、ビビるというよりは怯えている。

どう表現したらいいのかねえ「青天の霹靂」か。

「はなぶさ」は16：30から貸し切り予約が入っているので16：00過ぎにオヒラキとするが、短時間しか話していない守永が次行こうと言い出す、するとビビり純平が「行く前に先に参考書を買うから本屋へ」と、しょうがないから爺様4人が本屋へ、23年版参考書を買う。

次の店を探すが、村川は出来上がっているし、純平は気持ちは参考書に行ってるし、下戸の増田は酔い覚ましのコーヒーがいいと言い、まだ飲み足りなく次に行きたい守永が妥協し喫茶店へ。

村川が下関に行った時の飲み会の話や、亨ちゃんの鹿・猪肉の話や、チー坊の警察の手を煩わせた武勇伝の話等々楽しい時間は過ぎ17：00過ぎに本当の解散。

久しぶりの同期との会話、16・17歳に戻りヤッパリ楽しいね。
喜寿となりあと何回集まれるか分からないが集まれる時は集まりたいね。 (4/1 仙人記)

当日の写真

全員集合 4名だけど

守永の差し入れ 三千櫻



恵比須顔&ダウン顔（喫茶店）

近所に神社があった



深川さくらまつり

見事な大横川さくら



行き交う花見船



貸し切り 4人優雅にシャンパン コンシェルゼ付き

